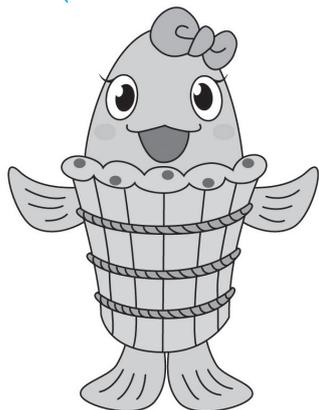


決算報告

9月3日から開催された第4回町議会定例会で平成24年度の決算が認定されました。
 そこで今月号では、平成24年度に皆さんから納められた税金や、国または県からのお金等がどのように使われたのかを報告します。

ワタシが
 まちの台所事情を
 紹介するよ！



美浜町の
 3つの財布



町 には、お金を出し入れするために3つの財布を用意しているんだよ。

まず、1つ目は「一般会計」という財布。これは、町の基本的な行政サービスを行うために必要なお金を出し入れする財布で、通常はこの財布にお金を入れたり、そこから払ったりしているんだ。

そして2つ目が「特別会計」という財布。この財布の中は、7つに仕切られていて、「診療所事業」や「国民健康保険事業」等があるんだ。

3つ目は、一般の会社と同じ会計方式をとる「企業会計」という財布。現在、町には1つだけ「上水道事業会計」という会計があるんだよ。

また、町では、たくさんお金がかかる事業や継続して進めていく必要がある事業のために「みずうみ保育園整備基金」や「まちづくり基金」等、15の貯金基金をしているんだよ。

プラス収支の
 一般会計



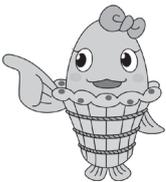
そ れじゃ、まず5ページにある一般会計のグラフを見てみよう。

平成24年度に町に入ったお金は83億6,794万円(歳入)で、そこから支払ったお金は80億9,922万円(歳出)だったんだ。

前年度と比較すると、残念ながら歳入は減少しているんだ。だけど、行政改革等を進めながら、歳出が増えないよう努力したから、財布の中身は黒字で終わることができたんだよ。

ちなみに、歳入から歳出を差し引いた2億6,872万円は、全部次の年(平成25年度)の財布へ入れて使われるんだ。

自主財源は全体の
 半分を下回る

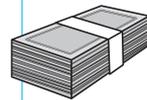


町 の一般会計の歳入は、みんなから納められた町税や町の施設を使った時に支払われる使用料

等、町が自主的に収入できる「自主財源」と国や県からもらった「依存財源」に分かれているんだよ。

ここで、その割合を見てみると、自主財源が47.2%で依存財源が52.8%。自主財源が全体の半分を下回っているのが分かるよね。自主財源の割合が大きいほど、行政活動の自主性と安定性が確保できるから、これからも税収を上げるための施策を考えて、取り組んでいかないといけないんだ。

町民1人あたりに
 使ったお金は約78万円



歳 出は、5ページ下のグラフを見て分かるように、大きく12に分けて目的別に支払われているんだよ。

町では、新しい年度が始まる前に必要となる事業や経費を計算して当初予算を組むんだ。そして、それ以降に必要な時は補正予算を組みながら行政サービスを行っているんだよ。

平成24年度に使ったお金は、80億9,922万円でその約3割を占めているのが教育費となったんだ。また、前年度と比べて事業費が一番増えたのも教育費。これは、生涯学習センターなびあすの整備にお金がかかったことが大きな原因となっているんだよ。

歳出総額を今年3月31日時点の町の人口で割ると、1人あたりに使ったお金は約78万円になるんだよ。

★ 町税の内訳

名称	金額	対前年比
町民税	個人	4億8,194万円 +3.9%
	法人	1億4,446万円 -77.4%
固定資産税	19億482万円 -1.7%	
軽自動車税	2,592万円 +2.0%	
たばこ税	8,465万円 -1.2%	
入湯税	178万円 -10.2%	
合計	26億4,357万円 -16.2%	

用語説明

歳入

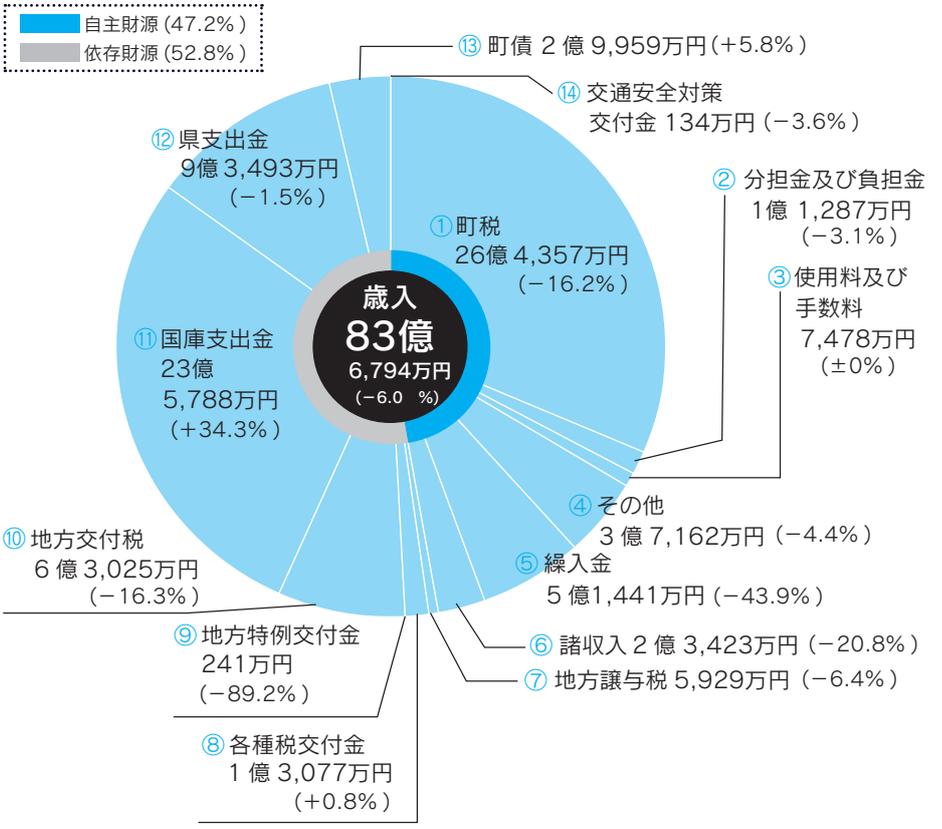
- ①町税…町民税、固定資産税、軽自動車税等、町に納められる税金
- ②分担金及び負担金…一定の事業により特別な利益を受ける者からその事業に要する経費の全部または一部を受益に応じて徴収するお金
- ③使用料及び手数料
使用料…総合体育館等、公の施設の使用料
手数料…税の証明や住民票等の交付に対する手数料
- ④その他…財産収入、繰入金、寄附金
- ⑤繰入金…一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互に資金運用するお金
- ⑥諸収入…他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目。延滞金や基金利息、雑入等
- ⑦地方譲与税…自動車重量譲与税、地方道路譲与税、地方揮発油譲与税
- ⑧各種税交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金
- ⑨地方特例交付金…恒久的な減税に伴う地方税の減収の一部を補てんするために国から交付されるお金
- ⑩地方交付税…地方公共団体が一定水準の業務ができるよう財政状況に応じて国から交付されるお金
- ⑪国庫支出金…国が公益性を認め、その事業を実施するために国から交付されるお金
- ⑫県支出金…事業等特定の目的の財源として県から交付されるお金
- ⑬町債…各事業を行うために町が借り入れるお金
- ⑭交通安全対策特別交付金…交通安全施設の整備、安全運転の確保、交通秩序の確立等一連の対策のために国から交付されるお金

一般会計

※実際の決算額は円単位ですが、分かりやすくするため万円単位で表示しています。

歳入

※()は対前年比

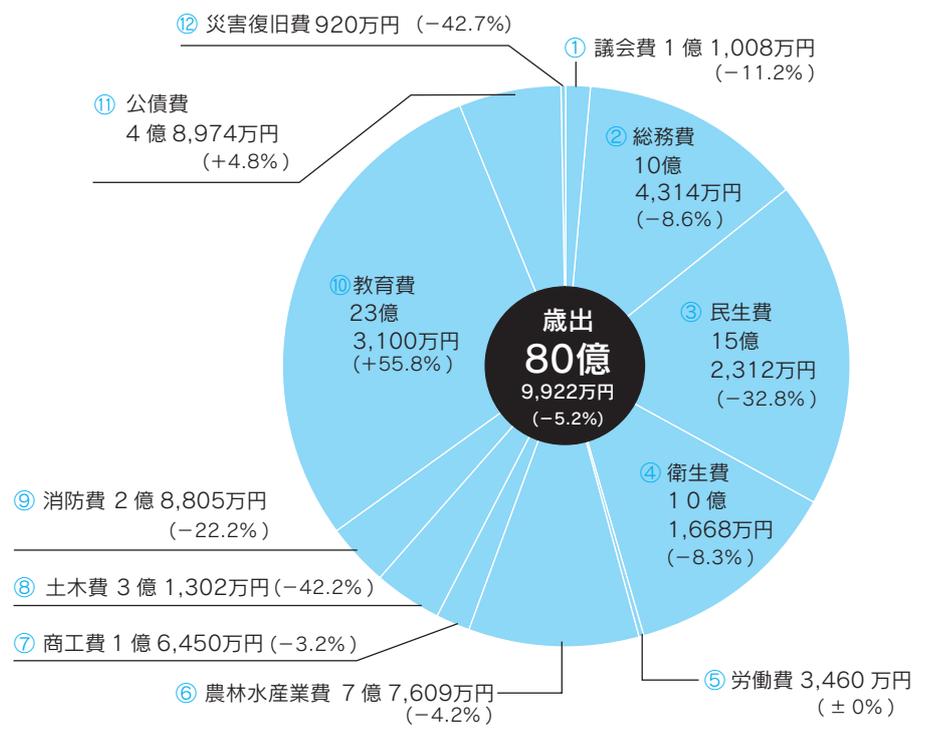


歳出

※()は対前年比

歳出

- ①議会費…議会活動にかかる経費
- ②総務費…自治振興、広報、戸籍、統計、選挙等にかかる経費
- ③民生費…児童福祉・障がい者への福祉サービスや老人福祉の増進、保育園や保健福祉センターの管理・運営にかかる経費
- ④衛生費…保健衛生、ごみ処理など、衛生的な生活のためにかかる経費
- ⑤労働費…労働者への賃付等にかかる経費
- ⑥農林水産業費…農林水産業の施設整備・振興や農業委員会の運営に係る経費
- ⑦商工費…中小企業の振興育成・雇用促進、観光振興にかかる経費
- ⑧土木費…道路・橋・河川・町営住宅の管理や都市計画にかかる経費
- ⑨消防費…消防署や水防・防災対策にかかる経費
- ⑩教育費…小中学校の管理・運営、体育施設の管理運営、社会教育、学校給食にかかる経費
- ⑪公債費…地方債の元金及び利子の支払いにかかる経費
- ⑫災害復旧費…災害によって生じた被害の復旧にかかる経費



● 町民 1 人あたりに使われたお金
(平成 25 年 3 月 31 日現在の人口 10,373 人で計算)

78 万 798 円

● 診療所事業



東部診療所と丹生診療所を運営するための会計で、両診療所を合わせた延べ患者数は10,122人でした。

歳入額	1億6,709万円
歳出額	1億6,698万円
差引額	11万円

● 国民健康保険事業



自営業の方や退職者等の医療費等を給付する会計で、被保険者数は2,656人でした。

歳入額	13億6,635万円
歳出額	12億8,620万円
差引額	8,015万円

● 簡易水道事業



簡易水道施設の整備・管理を行う会計で、10施設が稼働し給水件数1,107件(2,954人)に給水しました。

歳入額	1億9,009万円
歳出額	1億8,230万円
差引額	779万円

■ 上水道事業



上水道施設の整備・管理を行う会計で、給水人口は6,960人でした。施設建設等で不足した1,851万円は、施設改修のために保有しているお金で補てんしました。

収益的収支(水道料等での収支)	
水道事業収益	1億3,227万円
水道事業費用	1億2,679万円
差引額	548万円
資本的収支(施設建設等の収支)	
資本的収入	2,645万円
資本的支出	4,496万円
差引額	-1,851万円

≫ 特別会計



町の特別会計は全部で7つで、それぞれの決算は次のとおり。

この特別会計っていうのは、一般会計とは別に設けられている会計のことで、それぞれの会計が独自で収入・支出を経理する会計なんだ。

● 後期高齢者医療事業



75歳以上の高齢者等の保険料を収納・納付するための会計で、被保険者数は1,866人でした。

歳入額	1億1,197万円
歳出額	1億1,039万円
差引額	158万円

● 集落排水処理事業



集落排水処理施設の整備・管理を行う会計で、11施設が稼働し水洗化戸数1,259戸(3,527人)の汚水を処理しました。

歳入額	1億9,123万円
歳出額	1億9,108万円
差引額	15万円

● 介護保険事業



介護保険の給付や高齢者の生活支援等を行う会計で、被保険者数は3,282人。要介護認定者は629人でした。

歳入額	10億7,638万円
歳出額	10億7,173万円
差引額	465万円

● 公共下水道事業



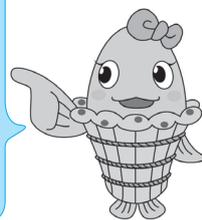
公共下水道施設の整備・管理を行う会計で、水洗化戸数1,940戸(4,702人)の汚水を処理しました。

歳入額	4億8,397万円
歳出額	4億8,374万円
差引額	23万円

≫ 企業会計

自治体によっては、法律で設置が義務づけられている企業会計。

美浜町は、地方公営企業法っていう法律の「水道の給水人口が5,000人を超える自治体」に該当するから、上水道会計を設けているよ。



▶▶▶ 平成 24 年度の主な事業

町では、平成 18 年度から平成 27 年度までの 10 年間のまちづくり方針を記した「第四次美浜町総合振興計画」に基づいて事業を進めているんだ！



■生涯学習センター建設事業 [事業費] 16億6,840万円

平成 22 年度～平成 24 年度にかけて、生涯学習センター「なびあす」の建設工事を実施しました。平成 24 年度は主に建設工事及び備品購入を行い、11 月 3 日に竣工しました。



生涯学習センター「なびあす」

■若狭美浜観光PR事業 [事業費] 3,255万円

美浜町が舞台となる小説「サクラサク」映画化に向け、共同製作事業を実施するため、映画「サクラサク」製作委員会の組合契約を締結しました。また、美浜の観光魅力発信事業等を行いました。



若狭美浜観光PR事業

■有害鳥獣対策事業 [事業費] 2億2,482万円

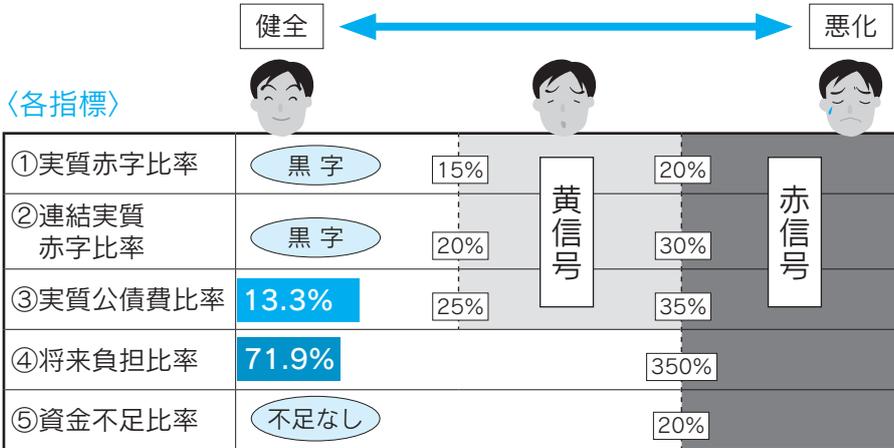
丹生・菅浜・北田・佐田・金山地区に、有害獣侵入防止柵（総延長 21,753m）を設置しました。また、有害鳥獣捕獲報奨金の支払いやニホンザル巡回捕獲等を実施しました。



町道役場前線

■町道役場前線改良事業 [事業費] 4,136万円

生涯学習センターの建設に伴い利用が高まる町道役場前線について、歩道の設置及び道路幅員の拡幅を行いました。



- 各指標の説明**
- ①実質赤字比率
一般会計等（美浜町では一般会計と診療所事業）の赤字から財政運営の深刻度をみる比率。美浜町では、一般会計等決算の実質収支が黒字となるため、比率は表記されません。
 - ②連結実質赤字比率
すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率。美浜町では、全会計の実質収支が黒字となるため、比率は表記されません。
 - ③実質公債費比率
借金の返済負担の重さを示す比率。
 - ④将来負担比率
町が抱える負債の残額から将来財政への圧迫をみる比率。
 - ⑤資金不足比率
公営企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率。美浜町では、4 会計とも資金不足がないため、比率は表記されません。

美浜町の財政状況は健全です

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、4 つの財政指標と公営企業会計（美浜町では、上水道事業、簡易水道事業、集落排水処理事業、公共下水道事業が該当）の資金不足比率で、自治体の財政状況をチェックすることになっています。

平成 24 年度の決算に基づく算定の結果、美浜町はいずれの指標も基準値を下回っており、健全な財政が保たれています。

